<table>
<tr><td colspan="4">航空自衛隊仕様書</td></tr>
<tr><td rowspan="2">仕様書の種類</td><td>内容による分類</td><td colspan="2">装備品等仕様書</td></tr>
<tr><td>性質による分類</td><td colspan="2">個別仕様書</td></tr>
<tr><td>物品番号</td><td>２３２０－４２４－７６７７－５</td><td colspan="2">仕様書番号</td></tr>
<tr><td rowspan="6">品名又は件名</td><td rowspan="6">１０００Ｇ給水車</td><td colspan="2">ＣＰＳ－Ｖ２３０１７－１５</td></tr>
<tr><td>大臣承認</td><td>平成　年　月　日</td></tr>
<tr><td>作成</td><td>昭和３２年　９月　４日</td></tr>
<tr><td rowspan="2">改正</td><td>平成１４年　６月２７日</td></tr>
<tr><td>平成２０年１１月２１日</td></tr>
<tr><td>作成部隊等名</td><td>補給本部</td></tr>
</table>

1　総則

1.1　適用範囲

この仕様書は，航空自衛隊で使用する破壊機救難消防車，その他の消防用機動給水源として使用する１０００　Ｇ給水車（以下，“給水車”という。）について規定する。

1.2　用語及び定義

この仕様書に用いる主な用語及び定義は，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｖ００００８及びＣ＆ＬＰＳ－Ｙ００００７による。

1.2　引用文書

この仕様書に引用する次の文書は，この仕様書に規定する範囲内において，この仕様書の一部をなすものであり，入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

なお，引用文書に定める内容がこの仕様書に定める内容と相違する場合は，c)を除き，この仕様書に定める内容が優先する。

a)　**規格**

ＪＩＳ　Ｈ　４０８０　アルミニウム及びアルミニウム合金継目無管

ＪＩＳ　Ｈ　５１２０　銅及び銅合金鋳物

ＪＩＳ　Ｈ　８３００　亜鉛，アルミニウム及びそれら合金の溶射

ＮＤＳ　Ｚ　８２０１　標準色

b)　**仕様書**

ＣＰＳ－Ｖ２３１０８　トラック２$\frac{1}{2}$ｔ４×４カーゴ

Ｃ＆ＬＰＳ－Ｖ００００８　車両等共通仕様書

Ｃ＆ＬＰＳ－Ｙ００００７　調達品等一般共通仕様書

c)　**法令等**

自衛隊の使用する自動車に関する訓令（昭和４５年防衛庁訓令第１号）

2　製品に関する要求

2.1　設計条件

設計条件は，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｖ００００８の2.1 によるほか，**自衛隊の使用する自動車に関する訓令**に適合するものとする。

2.2　材料・部品・加工方法

材料，部品及び加工方法は，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｖ００００８の2.2 による。

2.3　構成

構成は，次による。

a)　ポンプ

b)　真空ポンプ

c)　水タンク

d)　配管

e)　ホース

f)　ポンプ室

g)　その他

2.4　構造・寸法・質量

2.4.1　構造

構造は，次によるほか，ＣＰＳ－Ｖ２３１０８のトラック２$\frac{1}{2}$ｔ４×４シャシに，４５００Ｌ入りの水タンク，ポンプ，水源供給装置及び給水装置等を取り付けるものとし，細部は承認図面による。

なお，その他規定のない事項については，製造会社標準仕様とする。

2.4.1.1　ポンプ

ポンプは，次による。

a)　ポンプは，ボリュート又はタービンポンプとする。

b)　ポンプは，シャシのフレームに確実に固定され，振動等により移動しないこと。

c)　ポンプは，給水コックを開いたまま容易に吸水できる，ヘッドバルブを取り付けること。

2.4.1.2　真空ポンプ

真空ポンプは，次による。

品　　　名	１０００G給水車

a) 真空ポンプの動力伝達装置は，着脱円滑で機能確実な構造であること。

b) 真空ポンプクラッチは，電磁クラッチ式とし，操縦室内に操作板を設け容易に操作できること。

c) 真空ポンプは，ポンプ残留水の完全排水の如何に関わらず作動し得ること。

2.4.1.3　水タンク

水タンクは，次による。

a) 水タンク形状は，だ円筒で胴板３．２mm，鏡板３．２mmとし，内部に２枚の防波板（３．２mm）を有する全電気溶接式，容積４５００L以上のものとする。

b) 防波板は，内部清掃のために人の出入りを考慮して製作し，かつ，それぞれの防波板の底部及び上部には，流通口を設けるものとする。

c) 水タンク内部は，ショットブラストの後ＪＩＳ Ｈ ８３００に準拠する亜鉛メタリコンを施すものとする。

d) 水タンク上部には，全長にわたり約８００mmの平面部を設け，人が乗って作業する場合は支障のないよう丈夫に設計し，シマ鋼板により滑り止めをなし，かつ，下にフランジを有する丸型マンホール１個，通気口２個を設け，水タンク後部に昇降はしごを取り付けるものとする。

e) マンホールは，水タンク上部中央に設け，タンク内点検時取り外し可能で，人の出入りに十分な大きさとし，ふたはパッキンを挿入して，ヒンジビーム及びハンドルによって確実に締め付けること。

f) 水タンクは，鋼板製縦けたに溶接され，緩衝物を介してシャシ，フレームと強固に緊締して，車の動揺振動等で移動変位しないようにすること。

g) ポンプ室前左右壁外側に，水タンク内の水量を明示する水量計を取り付けるものとする。水量計は，５００L単位の目盛及び１０００L単位数字を付し，動揺，振動，その他の衝撃に破損しないような材料を使用するか又は適当な保護装置を施すこと。

2.4.1.4　配管

配管は，次による。

a) 配管系統図は，**付図１**を標準とする。

b) 水タンク前方左右に給水口及び吸水口をそれぞれ１個，後方左右に水源供給口をそれぞれ１個，水タンク後部に消火栓接続口１個を設けるものとする。

c) 左右の吸水口は，呼称３$\frac{1}{2}$B（ねじ山数４）ねじ及び呼称２$\frac{1}{2}$B（ねじ山数５）ねじを有するダブルキャップを付し，２種のホースの接続可能なものとする。

d)　前方左右の給水口は，呼称２½Ｂ（ねじ山数５）ねじを有し，その先端に６５mm消防用差込金具（雄）を付け，キャップを取り付けるものとする。

e)　後方左右の水源供給口は，呼称３½Ｂ（ねじ山数４）ねじ及び呼称２½Ｂ（ねじ山数５）ねじを有するダブルキャップを付し，２種のホースを接続可能なものとする。

f)　水タンク後部の消火栓接続口は，呼称２½Ｂ（ねじ山数５）ねじのホース接続可能なものとする。

g)　吸入側配管は，ポンプ吸入口より上記c)の左右接続口及び水タンク底部部を連結するものとする。

h)　吐出側配管は，ポンプ吐出口より上記d)の左右接続口及び水タンク底部を連結するものとする。

i)　その他の配管については，溢水管，水量計用配管，圧力計及び連成計配管を含むものとする。

2.4.1.5　ホース

ホースは，次による。

a)　サクションホースは，呼称３½Ｂ包線式を使用し，ＪＩＳ　Ｈ　４０８０又はＪＩＳ　Ｈ　５１２０製カップリング付とする。ねじは，呼称３½Ｂ（ねじ山数４）とし，最先端にストレーナを付けるものとする。

b)　デリバリホースは，２½Ｂズックホースを使用し，マチノ式カップリング付とする。

c)　消火栓接続用ホースは，２½Ｂ包線式を使用し，ＪＩＳ　Ｈ　４０８０又はＪＩＳ　Ｈ　５１２０製カップリング付で，ねじは，呼称２½Ｂ（ねじ山数５）とし，別個にマチノ式カップリングアダプタを付けるものとする。

2.4.1.6　ポンプ室

ポンプ室は，次による。

a)　操縦室後部にポンプ室を設け，計器その他を装備する。

b)　ポンプ室は，鋼板張り，半開放型とするものとする。

c)　ポンプ室両側板にゲージ板を設け，連成計及び圧力計を外部照明式に取り付けるものとする。

d)　ポンプ室両側に，スロットルレバーを取り付けるものとする。

e)　ポンプ室上部は，シマ鋼板張りとし，周囲に高さ３００mmの手すりを設け，点検用開閉扉を取り付けるものとする。

品　　　　名	１０００G給水車

2.4.1.7　**その他**

その他は，次による。

a)　この給水車には，次のライト及び標識灯を付けるものとする。

1)　**前面**　　防空マーカライトを２個とする。

2)　**後面**　　防空制動灯・尾灯を２個とする。

3)　**上面**　上面は次による。

3.1)　タンク後部上に航空標識灯（黄赤色１５W）は，左右各１個とする。

3.2)　操縦室上部に航空標識灯（黄赤色１５W）は，左右各１個とする。

b)　車両の主要諸元，取扱法及び諸注意を表示するデータプレートは，真ちゅう板又はアルミ板にて文字を浮き出し又は刻印して明確に読めること。

c)　車両後部に，搭乗可能なステップ及びその手すりを設けること。

d)　タンク両側に，装備ホースの格納箱を設けること。

e)　車体の前後面に，ナンバプレート（ステー付き）各１個を取り付けること。

f)　予備タイヤを取り付けるためのスペアタイヤキャリアを設けること。

2.4.2　**寸法**

寸法は，次による。

a)　**全長**　　　最大７２００mm

b)　**全幅**　　　最大２５００mm

c)　**全高**　　　最大３３００mm

d)　**軸間距離**　最小３５００mm

e)　**最低地上高**　　　２５０mm以上（差動機にて）

2.4.3　**質量**

車両質量は，最大８０００kgとする。

2.5　**塗装**

塗装は，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｖ００００８の2.3 によるほか，車体外部（ディスクホイールを含む。）は，ポリウレタン系樹脂塗料でＮＤＳ　Ｚ　８２０１の色番号１１０４赤色により塗装するものとし，細部は承認図面による。

2.6　**性能**

2.6.1　**走行性能**

走行性能は，車両総質量の状態で，異常がないものとする。

品　　名	１０００G給水車

2.6.2　**ポンプ性能**

ポンプ性能は，次による

a)　**口径**　　吸水口　φ１００～１５６㎜

b)　**放水口**　　　　　φ６８～１００㎜

c)　**吐出量**　　　　　　１５００L／㎜以上

2.7　**製品の表示**

製品の表示は，次によるほか，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｖ００００８の2.4 による。

a)　必要とする箇所に注意板又は文字を直接記入する。

b)　取り扱いに便利なよう，各種レバーに名称，方向等を記入する。

3　**監督・検査**

契約担当官等が定める監督及び検査実施要領に基づき実施する。

4　**出荷条件**

出荷条件は，商慣習による。

5　**その他の指示**

5.1　**提出書類等**

提出書類等は，次による。

a)　類別原資料は，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｙ００００７の4.1.1 による。

b)　取扱説明書は，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｖ００００８の5.1.2 による。

c)　車両法適用除外指定申出書関連書類は，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｖ００００８の5.1.3 による。

d)　完成写真等は，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｖ００００８の5.1.5 による。

e)　車両等主要諸元資料は，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｖ００００８の5.1.6 による。

5.2　**官給品**

官給品は，**表１**によるほか，Ｃ＆ＬＰＳ －Ｙ００００７の4.2.1 による。

表１－官給品

品　名	数量	単位	注　　記
トラック２$\frac{1}{2}$ｔ４×４シャシ	１	両	ＣＰＳ－Ｖ２３１０８の1.2 **種類**で指定する（トラック２$\frac{1}{2}$ｔ４×４シャシ）を官給する。

5.3　**自動車検査証・車歴簿**

自動車検査証及び車歴簿は，Ｃ＆ＬＰＳ－Ｖ００００８の5.3 及び5.5 による。

品　　　　　名	１０００G給水車

5.4　附属品・予備品

附属品及び予備品は，次によるほか，C&LPS－V00008の5.6 よる。

a)　3$\frac{1}{2}$Bサクションホース（包線式）カップリング付2．1m　4個
b)　2$\frac{1}{2}$Bサクションホース（包線式）2．1m　2個
c)　2$\frac{1}{2}$Bデリバリホース（消防向）カップリング付20m　2個
d)　サクションストレーナ（藤篭付）　1式
e)　ノズルチップ　口径18mm，22mm　各1個
f)　3$\frac{1}{2}$Bホースカップリング締付ハンドル　2個
g)　2$\frac{1}{2}$Bホースカップリング締付ハンドル　2個
h)　工具箱（ボデーの適当な位置）　1個
i)　投込式ヒータ（2kW）　1個
j)　グランドスパナ　1個

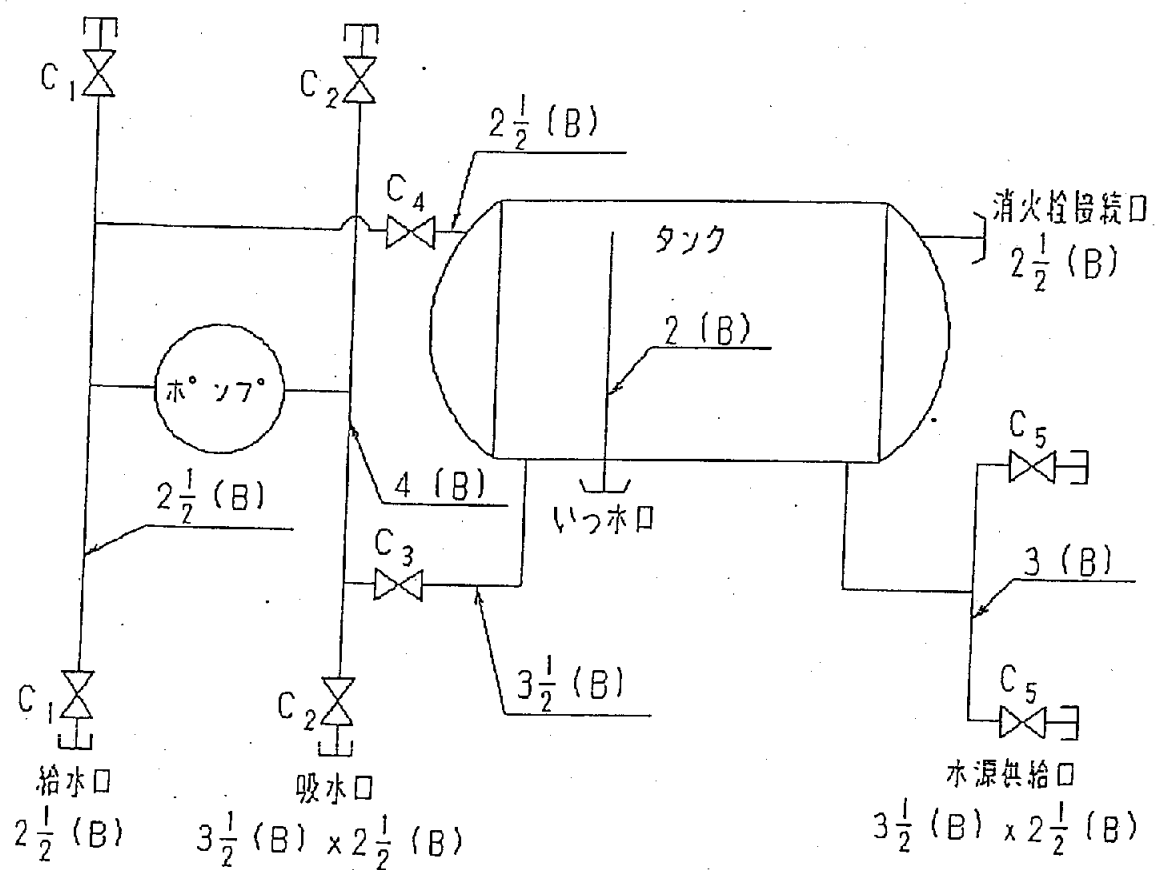
5.5　承認用図面・色見本

契約の相手方は，C&LPS－Y00007の4.3 により次の承認用図面・色見本を作成のうえ，提出し，承認を受けるものとする。

a)　**承認用図面**　承認用図面は，次による。
1)　外形図
2)　塗装配置図
3)　航空自衛隊標識図及びマーキング図面
4)　銘板
5)　その他必要な図面

b)　**色見本**　車体外部

5.6　装備品等不具合報告（UR）対策

装備品等不具合報告（UR）対策は，C&LPS－Y00007の4.4 による。

符号	コック呼称	数量	備考
C_1	2 1/2	2	給水口
C_2	3 1/2	2	吸水口
C_3	3 1/2	1	吸入ライン
C_4	2 1/2	1	吐出ライン
C_5	3 1/2	2	水源供給口

付図１－１０００Ｇ給水車の配管系統図